

# 高速シートシャッター「門番」 防風、気密性向上させた 屋外向けに「Rシリーズ」

## 小松電機、新ラインアップ4種発表

シートシャッター製造大手、小松電機産業(株)(松江市乃木福富町、小松昭夫社長)は、高速シートシャッター「門番」の新ラインアップを発表した。屋外向け仕様のほか、マイナス25度でも作動する冷蔵冷凍庫仕様、防爆仕様、装置組込ユニットタイプの4種類で、多様化する顧客ニーズに応える。



冷蔵冷凍庫仕様のシートシャッター。  
マイナス25度でも作動する



新たなラインアップに加わった「防爆仕様」のシートシャッター＝松江市乃木福富町、小松電機産業

**屋** 外向けは、シートに芯材を入れ、風や気圧差で起きるシートの膨らみを抑制。従来の屋内向け製品に比べ、防風性や気密性を向上させた。既存の屋内向けの「G



新ラインアップの発表会に集まった取引先企業の担当者＝松江市乃木福富町、小松電機産業

シリーズ」に対し、「Rシリーズ」として販売。海岸近くの工場の入り口など、風の影響を受ける場所での利用を見込む。

また、冷蔵冷凍庫仕様は、低温環境下でも柔軟性を保つ一方、シートの向こう側も視認できるよう、透過性を確保した低温用クリアシートを採用。誤作動や故障を防ぐため、モーターやセンサーなども、ヒーターを内蔵した機能性部品を使った。霜や水滴の付着を防ぐため、定期的な霜取り

動作を行うプログラムも組み込み、マイナス25度からマイナス5度まで対応できるようにしている。

防爆仕様は、東京都の複合素材メーカーと連携し、帯電を防ぐガラス繊維製のシートを開発。さらに、シャッターの駆動も既存の電気式から、圧縮した空気で動かす方法に切り替え、商品化した。電気による火花や静電気が発生しないため、可燃性のガスが出る場所での爆発事故を防げる利点があり、石油精製工場や化学工場などからの需要に期待する。

装置組込ユニットタイプは、シートの巻き取り部分やガイドレール、センサーなどの部品を、パッケージ化。これらをコンベアや昇降機、エアシャワーといった装置に組み込むことができるオーダーメイド商品として売り出す。

松江市内で開かれた新ラインアップの発表会では、国内外の取引先から120人が集まり、新商品の特徴を学んだ。小松電機産業は1985年、シートシャッター「門番」の販売を開始。同シャッターは高速で自動開閉し、工場内の防寒対策をはじめ、防虫、防じんなどの効果を発揮する。累計販売台数は14万台。